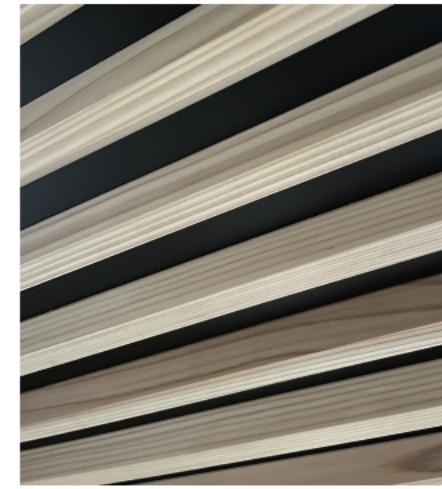


プライベートサウナ「OMUSUBI」

■ 人の「深部体温」の上昇にこだわった 「アルミ」と「木」で構成される 「特許出願済」リブパネル

・山形県工業技術センターと実施した様々な材質の評価で明らかになった「アルミの放射熱」と「木の蓄熱」性能。その2つを融合させた独自のリブパネル内装構造は人の「深部体温」の引き上げ、自然治癒能力の活性化を意図しました。



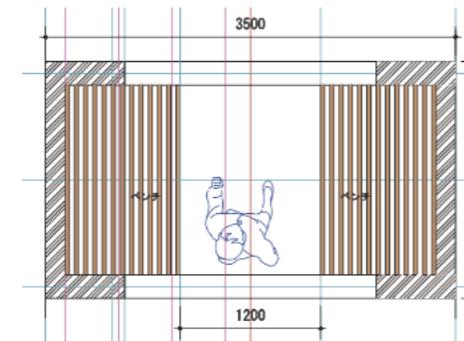
■ 極上の「ととのう」を実現するために 最適化された「OMUSUBI」型構造

・天井、壁の一体化された「おむすび」型構造は、最適な放射熱の循環を促し、身体前面のみならず背中まで温まるものです。座ったり、寝てみたり自分好みのスタイルで愉しめます。ロウリュすることで特にその「体感」を味わえ、水風呂→外気浴との組み合わせにより、極上の「ととのう」を引き出します。



■ シンプルデザインでありながら、 機能性を引き出すために 最適化されたプロトタイプ

・「プライベート」「パーソナル」な空間を感じられることが大切。また「サウナ」としての機能性はもちろん、さらに独自の機能性を再現できるため余計なものをそぎ落としたプロトタイプです。



橋本広幸 プロフィール
調うリフォーム専門店 ウエルスハシモト代表

20代の頃、株式会社INAX（現 LIXIL）営業マン時代、床工事が必ず伴うトイレリフォーム市場において、床工事不要のリフォーム用便器を発案。
現在のLIXILリトイレ便器、TOTOリモデル便器の原型モデルの製品開発に関わる。
その後、製品は業界に革命を起こす製品となり、日本のトイレリフォーム市場における大きな貢献を果たす一躍を担う。
30代 株式会社INAX（現 LIXIL）デザインコンテスト 小規模リフォーム部門において、全国最優秀賞を受賞。

結び

このリブパネルを活用したプロダクトである「サウナモジュール(OMUSUBI)」は、地場の材料と技術を継承したものであるとともに、深部体温を温めるのに最適な形状で、文字どおり調う(ととのう)ことで、心身共にリラックスできて健康になれる空間であること。

ひいては、この空間が地域やここに集う人たちの日常に豊かさを育むようなコミュニケーションの場としても機能することを期待したい。

■ 「プライベート」「パーソナル」に こだわり「自己対話」や「家族・仲間」と 愉しむ空間

・不特定の人目を気にせず、日頃頑張っている「自分自身との対話」や「家族・仲間」とじっくり裸で向き合え、愉しめる空間です。自宅用や商業用、屋内、屋外問わず製作できます。

■ 「地元杉材」の造作材を活用した 「元建具屋」の加工技術の継承

・地元山形産の汎用流通材である「野縁材」を活用しました。劣化した場合の「取替」が可能です。「元建具屋」生業の加工技術をサウナの内装に応用しました。

■ かつての「カラダ」と「ココロ」の不調を 調べてもらった「サウナ」と「地域」への 恩返し事業

・事業主体のかつての心身の不調を救ってくれた「サウナ」。その自身の経験を通じた「プライベートサウナの可能性が地域のこれから健康づくりに貢献する」との想いが県内若手建築家とのコラボレーションの実現に繋がりました。



渋谷達郎 プロフィール
建築家。株式会社アーキテクチュアランドスケープ 代表取締役。
山形県長井市生まれ。慶應義塾大学大学院理工学研究科後期博士課程単位取得専攻修了。
環境デザイン研究所、隣研若狭薬師川設計事務所を経てアーキテクチュアランドスケープ設立。
山形大学、東北工業大学非常勤講師。
日本建築学会東北建築賞作品賞、グッドデザイン賞グッドデザインベスト100、
やまとがたエクセレントデザインほか受賞多数。代表作：白瀬の家、西根の家、gura、高瀬ゆなど